

言語感覚の豊かな児童の育成

－「量」「質」「活用」に着目した継続的な語彙指導を通して－

前橋市立勝山小学校 小菅 瑞穂

I 主題設定の理由

小学校学習指導要領国語編（平成 29 年告示）解説（以下「解説」）の「学びに向かう力、人間性等」に関する目標に「言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う」ことが示された。言語感覚とは、相手、目的や意図、場面や状況などに応じて、どのような言葉を選んで表現するのが適切であるかを直感的に判断すること、話や文章理解する場合に、そこで使われている言葉が醸し出す味わいを感覚的に捉えることである。また、学習指導要領では、語彙指導の改善・充実を図る重要性が示されている。

本学級の児童（第 3 学年）は、言葉の使い方に自信がもてず、自分の気持ちを表現することに苦手意識を感じている様子が見受けられ、言語感覚が豊かであるとはいえない。児童には、たくさんの言葉を知ってもらい、言葉から想像を広げて感じ取ったり、思いを自分の言葉で表現したりできるようになってもらいたい。そこで、児童の言語感覚を豊かにする手立てとして、語彙指導に焦点を当てることにした。

本研究では、「量」「質」「活用」に着目した継続的な語彙指導を通して、言語感覚の豊かな児童を育成できると考え、本主題を設定した。

II 研究のねらい

言語感覚の豊かな児童を育成するために、「量」「質」「活用」に着目した継続的な語彙指導が有効であることを、実践を通して明らかにする。

III 研究の見通し

「量」「質」「活用」に着目した継続的な語彙指導を行うことで、言語感覚の豊かな児童を育成することができるだろう。

- 1 日常生活や文章を読み進める中で出会った言葉を「自分辞書」に集めることで、語彙の量を増やす。
- 2 「読むこと」の学習において、言葉を根拠に想像し、語彙の質を高める。
- 3 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習において、相手、目的や意図、場面の状況などに応じたふさわしい言葉を選び活用する。

IV 実践内容

本研究では、小学校第 3 学年の学級(31 名)国語科において、授業実践を行った。

1 【見通し1】語彙の量を増やす

(1) 実践の概要

日常生活や教材文を読んでいく中で出合った言葉を集めて「自分辞書」を作る活動を行う(図1)。新学習指導要領には、低学年「身近なことを表す語句」、中学年「様子や行動、気持ちや性格を表す語句」、高学年「思考に関わる語句の量を増す」とある。そこで、教材ごとに集める言葉のテーマを以下のように設定した(表1)。テーマごとに集



図1「自分辞書」

めた言葉や、児童が気に入った言葉、国語辞典で調べた言葉など、たくさんの言葉を集めて児童の語彙の量を増やすことができるようにした。

表1「自分辞書」に集めた言葉テーマ例

教材	集める言葉のテーマ	児童が集めた言葉例
きつつきの商売	オノマトペ	コーン、パシパシ、ピチピチ
俳句を楽しもう	季節の言葉	(春) さくら、タンポポ (夏) 雷、風鈴、うちわ
気になる記号	報告に使う言葉	調べました、分かりました、考えました、しめています
ちいちゃんのかげおくり	「言いました」に似た言葉	つぶやく、たずねる、さげぶ、せつめいする、聞き返す
すがたをかえる大豆	順序を表す言葉	まず、次に、また、さらに、これらのほかに、このように
詩を楽しもう	自分が気に入った言葉	みんなちがってみんないい
三年とうげ	気持ちを表す言葉	うっとり、おいおい、がたがた、真っ青になる、ぶるぶる
日常生活	クラスに増やしたい言葉	ありがとう、だいじょうぶ、すごいね、よかったね

(2) 結果と考察

児童は、個人差はあるものの、「自分辞書」のページを増やすことに関心を示し、自分の知っている言葉を増やすことができた。また、テーマごとに言葉を集めたことにより、言葉には意味ごとに仲間があることにも気付き、言葉の意味を予測しながら考えることができるようになった。言葉への興味を高め、意味を知っている言葉を増やすことができたので、語彙の量を増やせたと考える。

2 【見通し2】語彙の質を高める

(1) 実践の概要


「読むこと」(教材)「ちいちゃんのかげおくり」では、会話文やその後続く言葉に着目し、登場人物の気持ちを想像する活動を設定した。物語の第一場面には、「言いました」に関係する言葉がたくさん表記されている。「つぶやきました」「聞き返しました」「たずねました」「せつめいしました」「やくそくしました」「数えだしました」「声も重なり

VI 授業等活動の様子

【見通し1】語彙の量を増す

単元名 ちいちゃんのかげおくり（本時は2 / 11）

本時のねらい 初発の感想から心に残った言葉や戦争時代特有の言葉をまとめ、物語のあらすじをつかむ。

主な学習活動	指導の工夫	児童の姿・反応例
○教材文を読んで自分辞書を作る活動を行う。	・会話文に着目させて、「」の後に、「言いました」に関係する言葉があることに気付けるようにする。	
ちいちゃんのかげおくりを読んで、「言いました」の仲間になる言葉を集めよう。		
	・ペアで相談しながら探してもよいことを伝える。	・言葉を集めて、自分辞書に書き込んでいる。 [児童が書き込んだ言葉] つぶやく、たずねる、数える、注意する、説明する、教える、さげふ、伝える

【見通し2】語彙の質を高める

単元名 ちいちゃんのかげおくり（本時は4 / 11）

本時のねらい 叙述から、家族みんなでかげおくりをするちいちゃんの気持ちや登場人物の心情を捉え、1の場面のかげおくりがちいちゃんや家族にとってどのようなものだったのかを想像する。

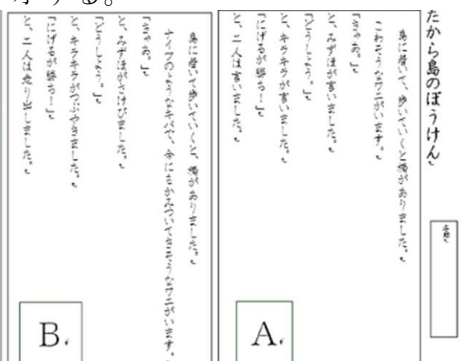
主な学習活動	指導の工夫	児童の姿・反応例
1 前時までの学習を想起し、本時のめあてをつかむ。	・初発の感想を提示することで、どのような出来事が書かれていた場面か想起しやすくする。	・自分の書いた初発の感想を思い出し、何を学習するのかを捉えている。
1の場面のかげおくりが家族にとってどのようなものだったのか考えよう。		
2 1の場面の前半部分を音読する。	・机間巡視をしながら、追いかけて読みを行う。	・教師の範読を聞いて、音読をする。
3 会話文とその後続く言葉に着目してワークシートにサイドラインを引き、ち	・1の場面の前半部分の本文が記載されたワークシートに、サイドラインが引けるようにする。 ・「言いました」や「言う」の類義	・会話文の後に続く言葉が「言いました」に代わる言葉であることに気づきサイドラインを引いてい

いちゃんと家族の心情を考える。	語を集めたカードやワークシートを活用して、全て「言いました」で読むとどんな感じになってしまうかも考えられるようにする。	る。
4 友達との交流で、考えを出し合ったり確認し合ったりする。	<ul style="list-style-type: none"> グループで交流して一緒に考えることにより、想像を楽しめるようにする。 グループごとに言葉カードを準備しておき、考えが出たところから言葉カードに書いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 4人組のグループをつくり、お互いに考えを出し合っている。 準備された言葉カードにグループで出てきた考えを書いている。
5 本時のまとめ、振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 心に残った言葉や表現をワークシートに書きこませ、本時の読み取りの感想を書けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時を振り返り、ちいちゃんへの思いを自分の言葉で書いている。

【見通し3 語彙を活用する】

単元名 たから島のぼうけん (本時は3 / 8)

本時のねらい 登場人物の気持ちが分かるように、会話文や会話文の後に続く言葉を考えて中①を書こう。

主な学習活動	指導の工夫	生徒の姿・反応例
1 前時までの学習を想起し、本時のめあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> 児童のワークシートから、児童が考えた登場人物やたから島の様子を紹介し、学習意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のワークシートを見ながら、この時間で何をするのかを捉えている。
2 例文A、Bを読み比べて、どちらの文章がよいか考える。	<ul style="list-style-type: none"> 「言いました」だけの例文Aと言葉を選んで使っている例文Bを提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ意味をもつ言葉を選んで使くと、登場人物の気持ちを表現しやすくなることに気付いている。 さげびました。 つぶやきました。 会話文の後に続く言葉は、必ずしも「言う」に關係する言葉ではなくてもよいことに気付く。 走り出しました。
3 分かったことをふまえて物語を書く。	<ul style="list-style-type: none"> 例文2つを拡大提示して児童の参考になるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「言いました」に代わる表現を考えている。 「自分辞書」を使っている。
4 本時のまとめ、振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートにペアからの一言欄を作り、コメントをもらえるようにしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 書けたところまでをペアで読み合い、感想を伝え合う。